

インターネットモニターアンケート結果

1 回答者

合計 62人

性別 男性30人 女性31人 答えたくない1人

年代 20代2人 30代6人 40代26人 50代8人 60代10人 70代以上10人

2 紙面で紹介した情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

| | | |
|--------------------|-----|-----|
| 1面「プログラミング教室がスタート」 | 28人 | |
| 2・3面「いじめは許さない」 | } | 37人 |
| 「教育長コラムみらいの種」 | | |
| 「イチオシ政策」 | | |
| 4面「エデュナビフェイス」 | } | 12人 |
| 「数字で見るあつぎの教育」 | | |
| 「親子のための耳よりインフォ」 | | |
| 興味を持てる記事がなかった | 0人 | |

3 興味を持った具体的な理由をお聞かせください。

【1面】

- ・子供に習わせたいと以前から思っていたから。
- ・私自身もSEであります、子供の時にプログラミングを学べることは羨ましいと思ったため。
- ・特になし。
- ・私がプログラミングの勉強したのは大学に入ってからでしたので、小学校でプログラミング教育がスタートするとの事で驚きです。しかしながら、情報時代の現在コンピューターの仕組みを知る事は必要ですし、物事を論理的に考える力を養う事も大事な事だと思いますので、プログラミング教育を小学校でおこなう事は有意義な事であると思います。
- ・プログラミングの授業は私達のころにはなかったことで、どのような方が教え、どのような設備を導入しているのか、気になる。
- ・小学生のうちからPC操作に慣れておくのは、とてもいいことだと思う。
- ・プログラミング教育により論理的思考を養ったり、課題解決への力を磨いたりという考え方が素晴らしいと思った。プログラミングが上手く行くと子どもたちの自信にもつながると思う。
- ・私の時代にはない、プログラミング教育、とても羨ましいです。小学校ではみんなが同じように出来るけれど、家庭により自宅でできない児童には対策が必要ではないかと思います。
- ・小学校でプログラミングの教育が始まったことは良いと思いました。コンピューターの仕組みや活用方法を身近な学校教育で覚えていくことは子供にとって興味深い勉強になると思います。さらに、大人も一緒に覚えていけるといいと思いますし、励みになると考えます。
- ・学校の臨時休校に対応すべく、一人一台端末貸与できるよう整備が急務ではないかと感じます。

・情報化時代に小学生の時からプログラム教育に親しみ、考える力を育むことができるのは、とても良いことです。いじめ対策としてのプログラムを作成することも良いことではと思いました。

・今の子は大変だな～。でももしかしたら、皆興味があるのかな。プログラミングが好きでない子にはきつい世の中ですね。

・参考になります。

・厚木は、子供の教育については、力を入れていると思う。今は、プログラミングまで小学校で教えると聞き、恵まれていると思うと同時に、この年の子全員に教える必要があるのかとも思う。私の小学校には、科学クラブ（部活）があって、放課後に、そこで鉱石ラジオや、髪の毛を集めて石鹸作り等を行った。高校での、微分・積分は教科書位の問題は、解けたが面白いとは思わなかった。大学も工学部で、会社は車の開発の仕事に就いたので、微分・積分の計算は使った。会社でも微分・積分を使うのは、うちの部署くらいだったので、最初は計算尺で、シャープの計算機の1号、IBMコンピューターの2号機等、最新の計算機を導入してもらったが、今では、1万円くらいの電卓でも計算式を組んで入れれば、答えが出せる。文系の人には、微分・積分は一生使うことは無いだろう。大学で習った、機械工学や内燃機関が最新の技術と聞いていたが、会社に入ったら、もう使っていない過去の技術であった。私の時代でも技術の進歩はこうなので、「こんな物もある」程度に教えるならいいと思うが……。経済大国のアメリカは、複合の足し算引き算が苦手だし、割り算の出来ない人も多い。インドでは、九九は、100までいえる人も多い。これは死ぬまで役に立つ。日本の教育は、根本的に見直す必要があると思う。

・プログラミングについてもっと詳しく知りたかった。

・息子がスクラッチをしているので。記事にあった、線を書くプログラミングも子供がトライして楽しかった。

・プログラミングがスタートするという記事は、学校が休校なので、はっ？って感じがする。学校がないならオンラインで授業すればいいのでは。一人一人にタブレット配布できてない、予算がないとしても、ほとんどの家にインターネットはあるはず。少なくとも携帯はあるから、各学校独自で参加したい人だけにして、どうしてもない人は少数で学校でやればいいのでは。これなら予算はいらない。貴重なこどもの時間を奪われて迷惑している。

・正直プログラミングより大切なことが、ほかにたくさんあるのではないかと思ったため。

・プログラミング教育を少し理解できて役立った。

・小学校でのプログラミング内容に興味があったので参考になりました。

・小学生にプログラミングは早い様な気がした。

・パソコンのプログラミング教育を小学生からスタートするということが、本来の科目のほうがおろそかにならないか気になった。

・プログラミング教育は論理的思考力を高める為には、良い方法だと思います。ところで、プログラミング言語は何ですか。私たちの時代は、ベーシックやC言語でプログラムしていました。

・新年度からプログラミング教育が導入させる予定ですので、とても興味があります。

・教育についてはあまり注目していなかったので特になし

・若年層からプログラミングに興味を持つ意味で、大変素晴らしい取り組みだと思います。指導者は大変だと思いますが共にスキルアップしましょう。

・プログラミング教室とは、最近の子供たちの教育内容に驚きました。

- ・昔よりもハイテクになった今、授業にも活用して子どもの成長に繋がると良い。
- ・今は「プログラミング教室がスタート」などの広報ではないと思います。休学の過ごし方や9月始業などの記事が欲しい。教育委員会の指導性をわかり易く示して欲しい。

【2・3面】

・いじめに関し、啓蒙活動は常に必要だと思う。明らかに、おかしいと思ういじめもあるし、よくみてなければわからないこともあり、難しい。学校での他の子との関わりの様子は全くわからず、不安がある。また、親として、過度の期待や、強制をしているようにも思え、自分の行動が悪影響を与えているのではとも思う。

・いじめは、発生しないようにするのは難しいと思うけれど、許さないという環境は大事だと思う。発生0をめざすと、問題が起こってももみ消すとかが起こりそうだから、どのように対応したかを重要視してほしい。

・いじめ、これはいつの時代も課題ですが、どんどんエスカレート、陰湿化、見えない形で、さらに最近はネットに変わって来ている、大人としても怖いのと、状況を知らないといけないと感じているので、グラフ、いじめの構造の概念図はわかりやすかったです。ただ、これが、子どもが感じている、直面している実際のことと合っているのかは自信がないです。時には子どもの言葉で書かれた記事を足して、親子で読めるようにするという工夫があってもいいかなと思いました。

・いじめが問題化すると、よく学校や教育委員会が逃げ腰になるイメージがあるが、そもそもいじめを発生させないために様々な取り組みを行っていることが分かり、頼もしく思った。

・特に理由はない。

・いじめ認知率のグラフをみて驚きました。おそらく、携帯端末の所持率が高くなり、数字を上げている側面もあるのではないかと。早急な、抜本的な対策が急務です。

・子どもを市立小学校に通わせていますが、いじめに対して取り組んでいることを知り、安心しました。

・いじめは絶対にいけないと感じました。

・いじめを、なんとしても、なくしてほしい。

・いじめ撲滅。いろいろな機会を捉えて啓蒙して行くことが大事だと思う。

・いじめの根絶を願っているから。

・絶対にあってはならないことだと思うので、改めてこのような紙面を通じて、あらゆる方々に考えてもらうことも大切だと思うからです。

・いじめは許さないとありますが、いけない事とは誰もが把握していると思います。厚木市の地区別で、いじめの問い合わせ件数や学校ごとの指導数、指導出動数、実際の相談内容の要約など、読み側が興味をもつ、また、もっと身近に感じられる内容の方が、促進につながるのではないのでしょうか。

・面白かった。

・いじめは、永遠のテーマだと思います。

・いじめに対する取り組みは評価したいと思いますが、いじめだけではなく、児童に関する虐待・不登校・ひきこもり・非行などの実態（件数・要因…）についても知りたいと思います。児童や

家庭を支える活動が必要だと思います。

- ・私も小、中、高校では外見の悪口や、からかい、無視などにあっし、私も話しかけていいのか迷って結局話しかけなかった時期があり、「その時に私も傷ついた。話しかけて欲しかった」という話を友達としたこともあった。性格も得意なことも考え方もそれぞれなので、社会に出てからどんな人でも一度は対人関係で些細なことを経験すると思う。「いじめゼロ」というのは難しいし、子供の頃の経験や悩みそれが大人になっても忘れないというのも大事だと思うので、傷つける大きさや助けがないのは避けたいけど、「ごめんなさい」で、また笑顔になれるごく小さな意見の対立は経験として大事だと思う。

- ・いじめ問題に正面から取り組んでおられることに感銘しました。孫たちが小学校に上がるまでに、完全に根絶されていたらいいなと思いつながり読ませていただきました。

- ・教育長コラムで新型コロナのことに触れていたのが興味を持ちました。

【4面】

- ・書物、物語には、映像にはない想像力があるので、興味を持っています。

- ・「おうちで給食レシピ」は定期的に広報に掲載してほしい。身近に児童がいない世帯にとっては、今の給食メニューを知ることができ、日々のレシピの参考にもなる。

- ・親子のための耳よりインフォでは、家庭学習のヒントが載っていました。実行が難しく、出来るところから取り組みたいと思いました。

- ・学校に行きたがっている息子のために給食レシピを参考に作ってみました。とても喜んで食べてくれました。でも給食の味を思い出し「早く学校に行きたい」と。早く学校が始まりますように願うばかりです。

- ・子供に給食がおいしい、家でも食べたいとよく言われていたので、楽しく料理が出来ました。自粛のなか、思いっきり楽しめました。

- ・学校の先生からの一言などを増やすと、大人だけでなく子供も見erkかけになるのではないかと。

- ・「エデュナビフェイス」がとても素敵な活動だと思ったので。

- ・給食に茎ワカメのきんぴらが出されていることに驚きました。

- ・「おうちで給食レシピ」を本にまとめてほしい。もっと知りたいです。

- ・子どもたちはこのような物を食べているのかと、感じただけですが。

- ・自粛で自炊する機会が増えたので、給食レシピは興味があった。

- ・数字で見る、というのは、抽出する数字や、数字の見せ方で、印象操作ができると思う。実際操作されている。コロナ感染の時期に、この内容で配布物を作成する意味があるのか。

3 2・3面でいじめ防止に向けた取組について紹介しましたが、いじめをなくすために教育委員会及び学校はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

- ・記事の最初に書かれている標語を日々確認しあえたら良いかと思うが、くどいかなあ。

- ・家庭と学校でしっかり子供に向き合う。

- ・一人一人の生徒に声かけしてあげて欲しいと思います。

- ・分からない。

・もし殴ったり蹴ったり等の傷害が発生しているのなら、学校という場所であっても、傷害事件にするべきだと思う。加害者を停学にすべき。あと教師のいじめ(ニュースになっていたような)は絶対にないように、教師によるパワハラ相談場所をしっかりと作ってほしい。

・大人が目線の上から見るのではなく、同じ目線で何が起きているか、また各自で立場が違うので、多面的に状況を捉えること、誰かを責めるのではなく、何が悪いかというベースで分析して、みんなで考えるということ、時間をかけて進めないといけないと思います。一方、それだけに時間を割くわけにもいかない、そのバランスが非常に難しいと思います。何かをしたら怒るのではなく、いいことをしたら褒めることを重視していくのも大切だと思います。自分もつい子供に対して怒ってしまいがちですが、これは自分の感情を抑えられないからで、指導ではないと反省します。これらは大人側に忍耐が求められる大変なことです、今一番必要な事だと感じています。先生は子どもに対して、教育委員会は先生たちの現場に対して忍耐を期待します。

・「いじめ」がタイムリーな記事だと思えない。柔軟な記事編集をお願いします。

・いじめ防止の為に、学校現場での生徒達自身の取り組みが重要であると思います。紙面で紹介されているような活動を、丹念に行っていく事が必要だと思います。また、家庭においても、子供達に対して「他人に対する思いやりの大切さ」とかの教育も重要だと思います。

・先生や生徒が気軽に相談できる専門家が、教室を巡回してほしい。心のケアをできる人材も必要だと思う。ボランティアとして、サポートできる人を育ててもよいのではないだろうか。自分の意見を言うのが苦手な子に、積極的に話しかけてほしい。

・学校と生徒のコミュニケーションを良くすることにより、いじめを発生させない、発生しても早期に把握できるような仕組み作りが必要だと思います。

・①テレビや新聞などで紹介された方法について、校内やPTAなどと検討する。感想の共有だけでも。②成功事例を参考にやってみる。それを検証(紹介)③ブラッシュアップ、または再チャレンジ その繰り返し。全クラス、全児童・生徒にマッチする方法はない。

・特になし。

・テキストや紙芝居、動画等を使った啓蒙活動に取り組むべきだと思う。NHKの番組も参考になると思う。必要になったら、見ようと思っている。先生に対しても、保護者、こどもにも、よいテレビだと思う。こどもと親と教師のワークショップもよいと思う。

・先生同士の風通しの悪さは、影響していないでしょうか。担任の先生が自営業者のような、ひとりで対応するシステムになっていないだろうか。以上2点、点検、見直しのポイントだと感じます。

・見て見ぬふりはしたくないけど、口出しすると自分もいじめられるかもしれない。匿名で情報提供できる場所(オンライン上)を作るといいのでは。

・子ども達の声をしっかり聞く。話しやすい環境を作る。学校だけではなく悩みを相談出来る場所をもっと作る。先生と子ども達の距離が近くなれば、信頼も増すと思うので話しやすくなる。なので、先生や子ども達の関わり方も改めて考える必要があるのでは。

・学校が、生徒の個性を認め、一律な対応にならないように努力してもらいたい。手のかからない子にも目を向けて。家庭でもそうだと思うが、先生の一生徒に対する言動を回りの子どもたちは良く見て、そこから批判や信頼が発生する場合もあるのではないかと。

・学校だけではなく、家庭の中でも取り組みが必要だと思います。いじめをする子供の親は、私

の経験上、やはり強い親が多かったです。あくまでも私の経験からですが。

・いじめは、長く寄り添い経過を見る必要があるのですが、忙しい先生方はなかなかそうもいかないのが現状です。また、カウンセラーの先生方も当人に委ねるばかりで、寄り添う気持ちがないと感じることが多々です。子供たちにその時だけでなく、長く寄り添い、再攻撃されない環境を作ることが必要なのではないかと思います。

・監視カメラやSNSによる発言も役に立つと思いますし、親とか教師に相談できない子供の駆け込み寺的な場所も必要だと思いました。

・個々の教育はもちろん大切ですが、大人が入ると、なかなか表面化しにくいところがあるのでは。そこをどうやって解決していくかは、学校と家庭がどう協調できるかがポイントではないか。

・現場（子供たち）の声をいかにして吸い上げるかがポイントではないかと思います。大人の介入は実際の声が聞こえにくくなると思います。

・積極的に子供と遊んでくださる先生は思い出に残っている。生徒との距離が縮まり、相談できる体制を作ることで、一人一人の人権を尊重した対応を願っている。

・教育委員会は、教職員の声を素直に聞き、いじめ対策を推進して欲しい。先生が一人に対応するには限界があります。2面・3面の記事内容に同感です。いじめは、当事者達の心の問題でもあり、関係者が一致協力することが、最も大切だと思います。

・大変とは思いますが、まずは現在の取り組みを絶やさないように継続することだと思います。

・なし。

・地域で見守る。

・昔もいじめはあったが、今のように陰険でなくわかりやすかった。今は兄弟が少ないので、部活等で、年上と年下の者と一緒に活動するクラブでも、校外授業を行うと良いと思う。

・子供たちだけでは解決が難しいので、間に入って弱い立場の子を守ってほしい。

・子供が発信しやすい信頼関係作りが大事だと思う。個別に話す機会を増やしたり、匿名の意見箱を作ったりして、SOSを発信しやすくするのはどうでしょう。

・いじめは なくなる。

・まめに連携をとること。

・人間にとってのいじめは、きっと古くから集団生活を始めるようになってからあることで、そんなに簡単にはなくせないと思います。（とは言え・・・、ですが）

・いじめの問題は、正直子どもだけにある事だけでなく、人間（生物）の性（さが）だと思われる。学校だけの問題ではなく、人間社会（生物社会？）の課題として取り組むことが必要かと思う。

・当事者の立場になることが重要だと思います。自分が被害者になるといじめが悪いことというのが実感できると思います。

・スクールカウンセラーの積極活用。

・親や先生に伝えたり、保健室に行っているのを見られたりしたら、よりいじめられてしまうのでは、と思う子もいると思うので、ただ話を聞いてもらう、相談できる場所を誰でも相談しやすい場所に作り子どもたちに知らせること、メールやはがき、電話など相談しやすい環境を整えること。学校内で、クラスでいじめがあるということを知られてしまうと、いじめられている子はより行き場を失うことがあると思うので、本人特定がされない場も必要なかと思う。いじめ

をなくすのも大事だが、いじめというのは本人の受け止めによっても違うし、まわりの目で感じることも違うと思うので、悩んでいたら誰でも相談できる場所、友達に知られない方法があるということを知ってもらうことが大切だと思う。傷つける言葉は言ってはいけないが、自分の思いを言い合えない関係は、寂しいと思う。お互いが、意見を言い合える環境づくりも必要になると思う。

- ・いじめアンケートや聞き取りでいじめがあったら、蓋をしてうやむやにするのではなく、しっかり対処してあげるべきでしょう。

- ・子どもたちのSOSに真摯に向き合っていくべきです。

- ・難しい。

- ・ニュースなどで、教育委員会や学校がいじめの報告をいじめと認めなかったり、揉み消したりすることがない様にする基本的な事をまずはしっかりすべき。

- ・熱意をもって。

- ・いじめ防止の為には、加害者にいじめているとの認識が少ないので、親や教師が「いじめ」だと十分説明する必要があると思います。また、回りの子供の協力（加害者に味方しないこと）や、教師は見ても見ぬふりをしないことだと思います。

- ・いじめ撲滅。いろいろな機会を捉えて啓蒙して行くことが大事だと思う。

- ・いじめに遭っている子供の意見を十分に聞くこと。

- ・児童や生徒が、先生等に小さなことでも話しやすい環境を作ること。そしてその情報を、先生等と教育委員会等あらゆる機関同士で積極的に意見交換や対策が練れる環境をさらに強化していくことも必要だと思います。一番は、子供達の少しの変化も見逃さない意識を更に高めていけたらと思います。

- ・100パーセントの情報公開。行政は、正しく、隠さず、ケアしているということを示すしかないです。何も具体的に発信しなければ、そのままです。

- ・細部にわたり、情報を隠さず収集すること。

- ・実態を把握するところとそれに対するケア体制を今一度見返す。

- ・恐れず取り組む事が大事。

- ・自己理解と他者理解について伝えていくことが大切です。

- ・いじめに対してこの様に深い、適切に学校での状態を的確にとらえているので、興味深く見ました。色んな観点からの事例が掲載されているのでその点でも大変参考になりました。保護者は勿論、教育に携わる人、周りの大人達も我が子のように、昔の近所付き合いのような関係を持ちましょう。

- ・教育委員会と学校が真剣に子どもたちを救うのだという意欲と真剣さを持つこと。それがない職員は、黙って去れ。

- ・「いじめ防止」は、家庭や友達環境など広く把握し対応する必要があると思います。「イジめる・イジメられる原因」は様々だと思います。家庭・学校・地域など幅広い連携と取り組みが必要だと思います。

- ・中学生の時は「死ね、気持ち悪い」と別のクラスの男子からほぼ毎日言われていました。私が引っ込み思案で言い返すタイプではないのがわかるので、同じクラスになるとからかいはしなくなります。しかし3年間誰かからのからかいは続き、成人式でも当時顔を数回見て名前も知らな

い人から「気持ち悪いのがいる、来るな」と20歳にもなっても悪口を言われていました。社交的で明るい子が何気なく言っているので先生も気づかず、先生からすると私は成績表や3者面談では「暗い子、なんで社交的になれないの」と言われてしまったので、私のせいだとばかり思って相談できませんでした。幸い、友人がいたので相談すると「私も同じように暗い、気持ち悪いなどと言われている」とのことでした。悪口などでどう傷つくかは生徒一人一人違うので、からかいだと笑って済む子もいれば、私のようにずっと気にする子もいます。悩んで泣いた時に保健室に何度か行こうとしても「熱はない」で終わってしまったので、保健室のような感じで心の相談ができる場所があったら良いと思います。

・先生が生徒と一人一人向かい合える時間、ゆとりをもつことが大切だと思います。そのためには、先生自身が忙しすぎては難しいので、いかに仕事を効率よく、簡素化できるかも大切だと思います。また、先生自身の悩みに向かい合ってもらえる上司の存在も大切だと思います。

・いじめをしそうな子どもへの注視。

・正直いじめはなくならないと思うので、いじめが起きたときの対応を考えた方が良いと思う。

・人として豊かな人を教員として採用して欲しい。先生自らいじめのきっかけとなるような発言をする人を度々見る。さらに、その場で、校長に告げても、次の年も何事もなかったかのように、担任になっている。先生の人間としての本質は後から変えられないのだし、生徒は一度傷つけばそれが一生の傷となる。だから、採用には慎重になるべき。愛のある人を採用してください。

・いじめる側の親に負けない、絶対引かないという姿勢が大切だと思います。子供の人権人命を守るという強固な信念があれば、誰にも負けないと思います。

4 今回の教育委員会だより「Edu Navi」について、意見、感想があればお聞かせください。

・私のような高齢者にも読む価値のあるページでした。

・内容が分かりやすく、読者をひきつける書き方でとても良かった。子供を持つ親として、考え深い内容でした。

・特になし。

・いじめの傍観者は、へたに首をつっこむといじめの被害者になるから難しいと思う。でもこのような記事はいいと思う。

・色使いや表現方法が今時になっていて、工夫がされていると感じます。2面の見出しなどは、特にキャッチーで賛否両論あると思いますが、新しい表現へのチャレンジはいい事だと思います。プログラミング教育は、小学生の英語教育と同様、指導者にも高いレベルのスキルが求められ、先生方も大変だなと思います。先生方も大変なのに、中途半端にこういう教育過程を増やしていく文部科学省に疑問もあります。義務教育では、もっと国語など基本的な読み書き、人の心、当たり前前の計算能力などをしっかり教育して欲しいです。

・コロナいじめなどの発生などの注意喚起など、柔軟な編集をお願いします。

・教育委員会の子供達への取り組みが、わかりやすく紹介されているので良いと思います。

・教育現場の様子がわかってよい。何が問題なのか、教育現場だけでなく、保護者、地域も問題点を共有したい。広報誌の内容としては、すでに知っている情報が多い気がする。先生の意見も入れてほしい。

- ・就学児童がいない家庭では、最近の学校では何をやっているのかよく分からないが、こうして定期的に情報発信をしてもらえると、それが把握できるのでとても良いことだと思っています。
- ・以前「教務アシスタント」のような職種の募集を見た。それについての現状や効果、今後についてなど、進捗状況が知りたい。
- ・特にない。
- ・今後、オンライン授業はどうするかも知らせてほしい。
- ・4面の物語は、人間にとって必要なことだと思います。想像力が育まれるのかな。
- ・給食レシピがとてもおいしそうだった。大人も食べられる食堂があるといいと思う。
- ・給食レシピもっとたくさん教えて下さい。
- ・いじめ防止の記事について、学校の取り組みを載せていたが、親や子供たち自身の言葉も出てくるとより実感しやすいのではないかと思った。
- ・今号も読み応えありました。次号も期待しています。給食レシピ、参考になります。
- ・縦社会の日本ではまだまだ難しいことが多いと感じます。子供たちの声を拾い上げ、ケースバイケースで対応できるような組織づくり、ある程度独立した体制づくりも大切なのではないかと思います。子供たちのための活動ならば、子供たちの意見をぜひ吸い上げてほしいと感じます。
- ・いじめの問題はいつまでたってもなくならないでしょうし、子供の心に大きな傷を作っています。全国の学校などで成功した例を共有し合ったり、困っている問題を発信したりする事も必要だと思います。
- ・今後も、リアルな情報発信を継続お願いします。
- ・新学習要領実施はわかるのですが、今年度は緊急事態であることを踏まえて、弾力的な対応をお願いしたいです。
- ・新型コロナウイルス対策や子供達の教育に従事されている方々のご苦労は、大変だと思っています。子供達の生活環境が厳しくなる中、ストレスも溜まりいじめなどに結びつくことも考えられます。孫達の心の変化にも十分留意したいと思います。紙面全般の活字の大きさや彩色も十分に読みやすい紙面になっています。
- ・写真が多くて分かりやすい。どの学校でどのような取り組みをしているかを深掘りしたのものも見てみたい。
- ・現在休校中のため、「プログラミング教室がスタート」では、家庭でどのように学習したらよいのかについて載っていると良かったのではと思いました。
- ・なし
- ・こういった、提議は市民に年2回くらい行ってほしい。
- ・給食レシピは今、家にいる時間が長いので一緒に楽しんでみたいです。
- ・毎回給食レシピが興味深い。自分の頃との違いや、自分の発想にはないレシピがあったりして面白い。
- ・特にない。
- ・楽しく読ませていただきました。
- ・プログラミング授業の必要性について疑問に思っているが、写真の子供たちの笑顔がとてもよく、興味をもって何かに取り組めることがあるというのは、改めて良いことだと思いました。
- ・いつの時代もいじめ問題が深刻だということを、改めて感じた。

- ・とても良い記事、広報だと思います。今回初めて意識して読みましたが、内容だけでなくレイアウトも含め良かったです。
- ・茎わかめのきんぴらが美味しそう。作ってみたい。
- ・給食のコラムは、小学校の給食を知る機会なので楽しみにしています。
- ・プログラミング用にパソコンが用意されるなんて自分の子供時代では考えられない。恵まれていると思った。エアコンもあるし。
- ・茎ワカメのきんぴらは、子どもたちに本当に人気があるのか気になりました。
- ・給食レシピ、もっと知りたい。
- ・特になし。
- ・コロナウイルスで通学できない人へ、元気づける記事をお願いします。
- ・毎号、教育現場の状況が良く分かって勉強になる。
- ・役立つ情報が多かった。
- ・現在の教育現場の実情を、このエデュナビを通じて知ることが出来ているのも事実です。これからも発行を続けていただきたいです。
- ・学校へ行けない子供たちへ横浜市はTVKなどで勉強番組を流していると聞いています。厚木市も作ってくれなくて良いので、他の市で作ったものを活用する、また情報をお知らせするなどがあって良いと思います。
- ・学校でのいじめの取り組みについて写真入りで、わかりやすかった。
- ・特になし。
- ・良かった。
- ・家で過ごす工夫の記事、良いと思います。
- ・耳より info は、STAY HOMEのこの時こそ大変素晴らしい記事です。これを見て実践しましょう。
- ・面白くなかった。
- ・これからも広報活動を期待しています。
- ・コロナで数ヶ月空いてしまったので入学、学年が変わったので人見知りな子だけでなく、どんな子も新しい学年やクラスになるのが不安だと思うので、今回の「いじめ」などを子どもたちも親と見て話し合うと良いと思いました。
- ・家で作れるように給食のレシピが公開されているのはとても良いと感じました。
- ・いじめは非常に悪質な行為なので、いじめが起きないようにこれからも皆に伝えていって頂きたい。
- ・子供がいないので当事者ではないものの、こういう機会でないと思わないものなので、見ない層でも楽しめる記事があっても良いと思う。
- ・厚木市の学力が低いままで改善されず、むしろより低くなっている。公立高校への進学実績（それだけが基準とは思わないが）を見てもここ5、6年の低下が顕著である。全国学力テストの結果を真摯に受け止め改善策を実施すべき。まずは、教員の採用。教員のレベルを上げて欲しい。専門分野に詳しくない、学問から遠ざかってかなりの年数が経っている保護者より知識がないようなレベルの先生が多すぎる。子供達の質問にその場で答えられないばかりか、調べてもわからない。そういう状況だと、子供たちの「知りたい」という意欲は低下していく。学力は伸びない。

市の施策の方向性を再検討して欲しいと思います。こんなナビはいらない。また、各クラスにサポーターとして数学や英語で補助教員が入るが、その人は、授業参観などで見る限り、座っているだけ。子供に聞いても、直接話したことがない、という。そんなことに費用をかけて意味があるのか。実施したら効果も確認して欲しい。やりっぱなしではなく、改善を重ねて、本当に必要なことに税金を使って欲しい。教員も給料を上げればもう少しは優秀な人が来るならそれもよし。人間的にも学力的にも、「先生」にふさわしい人を「採用」して欲しい。

・プログラミング教育がしっかり根付いて、子供たちの心身にいい影響を与えてくれたらいいと思います。